

未来かなえネット活用例の紹介

-薬局版-

【肝機能、腎機能等のデータ共有】

医療統合画面にて、肝臓や腎臓機能の検査結果が確認できることで、多剤併用による悪影響や副作用の確認を病院と薬局でダブルチェックができるようになる。



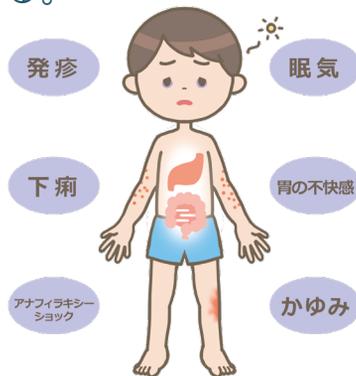
【薬の重複や飲み合わせチェック】

複数の医療機関を受診している患者の場合、すべての処方情報を同時に確認することで、ジェネリック医薬品の飲み合わせによるトラブルを回避することができる。



【副作用の把握】

抗がん剤など病院の治療で使用されている薬の情報を『未来かなえネット』で把握することで、処方薬以外の副作用を確認することができる。



【薬局からの情報提供】

薬局で把握している副作用やアレルギー等の情報を『未来かなえネット』に登録することで安全に薬を使用することができる。

また、医療統合画面から処方編集や処方コメントを登録することができるため、処方毎に共有した情報を登録することができる。



新型コロナウイルス感染症対策をして
巡回しております。

発行者：一般社団法人未来かなえ機構 事務局

機構ホームページは
こちらのQRコード➡

